

『消費税 25%の国デンマーク』（仮題）
— 高福祉・高負担の国 —

もくじ：

まえがきにかえて

第1章 デンマークの高福祉社会とは

- ① 住民登録制度
- ② 家庭医の制度と入院費
- ③ 出産と育児政策
- ④ 育児を支援する行政
- ⑤ 義務教育
- ⑥ 試験の評価点数
- ⑦ 教師の勤続と労働条件
- ⑧ 授業料も入学試験も無い学校教育
- ⑨ 高等学校の卒業と大学への進学
- ⑩ 18才で成人、生活費は国庫から
- ⑪ 職場を頻繁に替えるデンマークの人達
- ⑫ **生活費のセフティーネット**
 - 1) 後期給与制度
 - 2) 早期年金制度
 - 3) **生活保護支援制度**
 - 4) 国民年金制度
- ⑬ デンマークの住宅手当
- ⑭ 在宅介護制度
- ⑮ 高齢者サービス
- ⑯ 高齢者を支援する「高齢者委員会」
- ⑰ 余暇を楽しむ高齢者
- ⑱ 葬儀費
- ⑲ 国家予算の約40%が社会福祉予算

第2章 デンマークの社会福祉の財源について

- ① デンマークの資産家と国際企業
 - デンマークの資産家
 - デンマークの国際企業
- ② サラリーマンの所得
- ③ 脱税が困難な納税システム
- ④ 15歳から始まる所得申告
- ⑤ 収入源と残高報告
- ⑥ 所得税の算出例
- ⑦ デンマークの物価
- ⑧ 消費税の精算
- ⑨ デンマークの社会福祉に問題はないか
- ⑩ 社会福祉には国民同士の信頼が必要
- ⑪ 「共生」と「競争」社会について
- ⑫ デンマークの能力主義と所得格差

- ⑬ 社会福祉と離婚について
- ⑭ デンマークの自殺者

第3章 デンマークという国

- ① 多数の島と平坦な国土
- ② 猟銃民から農耕民族になった国民と王家
- ③ キリスト教を国教とする国
- ④ 国防に多大な犠牲を払った国
- ⑤ 国土防衛から社会福祉国家をつくった国
- ⑥ 農業の自立と国民教育に力を入れている国
- ⑦ 多大な経済力を持つ「農業協同組合」がある国
- ⑧ 産業育成と融資銀行の長い歴史を持つ国
- ⑨ 職種別労働組合を持つ国
- ⑩ 職場と教育を連携つけた国

あとがきにかえて：

.....

まえがきにかえて：

デンマークは高福祉高負担と呼ばれ、世界で最も税負担が重い国です。それでも、デンマークの人はイギリスの社会学者アドリアン・ホワイト教授に言わせると世界で最も「幸福な国民」と言われています。なぜ、デンマーク人が世界で「最も幸福な国民」なのか、同教授は「幸福な国民」の定義として「健康でよい教育が保証された国に住む者」としています。確かにデンマークでは、教育費は初等教育から大学教育含め全て無料（国庫負担）で親が子どもの教育費をどうして工面するか、ということをお心配する必要はありません。病気になっても、お金が無いから治療を受けることは出来ないという問題はなく、薬代において少し個人負担がありますが、入院費の心配をする必要は在りません。デンマークに住んでいる人達の大半は私（筆者）も含め、教育費の自己負担が無いことや、医療費の個人負担が無いことを考えると、税金が高くても、「やむえない」と思っているのです。このデンマークの高福祉・高負担という社会は、世界銀行が発表した「全世界の統治指数（Worldwide Governance Index）」において、世界で最も民主主義が進んでいる国デンマーク人が選択した社会でもあるのです（注）。

（注）デンマークの民主主義について

下記表は世界銀行が全世界 12 万人の市民、専門家、企業経営者などから得た国家の統治に関する実情を指数として表したものですが、表で見るとおり、デンマークの民主主義はフィンランド共に 100 点満点を得ています。ということは①デンマークでは人権、市民権そして政治権が守られているという意味です。

表 World Governance Index. (国家統治に関する実質値)

国名	民主主義 ①	安定 ②	能率 ③	規則の質 ④	法律と 治安⑤	汚職 ⑥	合計点
フィンランド	100	98	99	99	98	100	594
アイスランド	96	100	100	98	100	100	594
ルクセンブルグ	96	97	97	99	98	93	580
スイス	98	92	98	93	100	98	579

ニュージーランド	97	92	95	97	97	99	577
ノルウェー	99	92	98	92	99	97	577
デンマーク	100	78 (注)	99	98	99	98	572
スウェーデン	98	89	96	92	96	97	568
アイルランド	97	84	93	95	92	93	554
ドイツ	94	67	90	90	94	94	529
イギリス	93	59	94	94	93	95	528
シンガポール	38	84	100	100	96	99	517
アメリカ	89	49	92	93	92	92	507
フランス	92	58	90	80	90	91	501
日本	75	80	85	86	89	85	500
イタリア	77	53	72	76	64	67	409
インド	56	22	52	41	56	47	274
中国	6	39	52	45	41	31	214

(出典：Morgenavisen Jyllands-Posten Søndag den 17.sept. 2006, ErhvervsMagasinet.5)

- ① 民主主義：人権、市民権、政治権が守られているか。
- ② 安定：テロリスクや政治への暴力的脅迫を受ける可能性
- ③ 能率：公共サービスの質と公共部門の権限の良し悪し
- ④ 規則の質：市場経済を支える法律や規定の質の良し悪し
- ⑤ 法律と治安：裁判所の独立性、判決の質、警察の能率良し悪し及び個人と知的財産権の保護及び契約保護の程度。
- ⑥ 汚職：権力の乱用及びエリートの汚職程度（汚職ゼロが 100 点）。

(注) デンマークの言論と報道の自由（新聞社のマホメット風刺）イラク・アフガニスタンへの兵力の派遣によるテロをうける可能性が高いことから来る評価（可能性がゼロの場合は 100 点）。

少し古いデータですが、2006 年における、デンマークの GNP に占める税負担率 49.2% となっています。この内訳を見ますと、個人所得税 24.5%、その他の所得税 5.1%、社会保険掛金 1.0%、資産税 1.9%、消費税 10.2%、関税 0.2%、特別物件及び用役税 6.2% となっています。GNP に占める税負担率を金額で見ますと、2006 年デンマークの国民総生産高は 2,741 億ドルで、この内の 49.2% に当たる 1,348 億ドルが国家への歳入という意味にもなるのです。

デンマークの国家財政の財源で個人所得税について多いのは消費税です。デンマークは 1962 年、今日の消費税の根源とも入れる「販売税 9%」を導入しました。デンマーク議会は「販売税」を 1967 年に『消費税』という名称に変え、消費税率を 10% としました。そして、その後、デンマーク議会は、消費税を 12.5% (1968 年)、15% (1970 年)、18% (1977 年)、22% (1980 年) と引き上げました。そして今日の消費税 25% に引き上げたのは 1992 年のことです。勿論消費税の引き上げに関して国民の間から引き上げ反対の声もあったと思いますが、導入されたことから見て、大半の国民は消費税引き上げに理解を示したためだと思います。なぜ、デンマークの人たちは消費税 25% を受け入れたか、その背景には「ゆりかごから墓場まで」と呼ばれている社会福祉政策があるためです。デンマークの人達を取り入れた社会福祉では、国民全員の納税を財源とし、デンマークに居住する全ての人が、生まれた時から他界するまで生きる上で必要とする各種の支援をしているのです。その支援として必要な財源の一つに「消費税 25%」があるのです。

デンマークで消費税がかからないのは、郵便切手、金融取引（住宅の売買、有価証券の取引）タクシー代、歯医者や医者の治療費ですが、その他は食材、自動車の売買を含め全て一律 25% の消費

税を払うことになっています。そんなことで、デンマークの物価の多くは日本に比べたらかなり高いと思います。一方ではデンマークの消費税 25%は国民間の貧富の差を縮める、役割を果たしていることを考えると、私（筆者）は税金の採り方としては正当な方法だと思っています。なぜならば、消費税は消費が多い人ほど負担する額が多いため、一般的に高所得者の消費額は低所得者に比べ絶対値で多く、消費税で納税された金額は低所得者への支援額として利用されているためです。

最近のインターネット情報によれば、日本の政治において、消費税を現行の 5%から 10%に引き上げることを検討しているように書かれています。それに対し、「消費税引き上げをやむ得ない」と考えるのか、「上げるべきではない」と答えるのか、日本人の間で意見が分かれているように見えます。消費税を上げられて困る人たちの殆どは、生活費の負担が増えることを、反対理由にしているようです。一方消費税の引き上げも「やむ得ない」と答える人たちの多くは、日本の赤字財政の改善と社会福祉への財源に充てることを理由として賛成しているように思えます。

日本の消費税 1%上げることで見込まれる増収額は約 2.5 兆円と言われています。そういうことから現行の 5%を 10%としたとしても、増収額は 7.5 兆円にしかならぬのですが、日本の中央政府予算（一般会計）約総額 90 兆円の内約 40 兆円が国債発行によって賄われていることを考えると、消費税を 10%に引き上げによって 7.5 兆円の増税を図ることは国の財政改善の方策としては決して間違っていないと思うのです。あるいは日本の低所得者層への支援として消費税の増額分を充てることにおいても、私は間違っていない政策だと思います。何れにせよ、消費税の引き上げによって増えた納税額の用途について、納税者とその被納税者（ここでは財務省や政治家）との間で、意見の統一あるいは理解が必要だと思います。ここで必要なことは納税したお金が国民が望む方向に使われるという「信頼」関係が出来ているかどうかということだと思います。国民同士の信頼関係が出来て入れば、消費税の引き上げに賛成すると思うし、出来ていないと反対する人が出てくると思います。つまり、納税において大事なことは、納税されたお金の使い道について、国民同士の理解と信頼関係が出来ているかどうかということだと思います。デンマークは世界で最も税負担の重い国だと書きましたが、納税したお金が国民の大半が望む方向で使われているという「実感」があるため、デンマークの人達は高い所得税を払い、消費において 25%の消費税を払っているのです。

本書では、消費税 25%の国デンマークという国というタイトルで、デンマーク人が導入した「ゆりかごから墓場」の社会福祉とはなにか、その財源をどのようにして確保をしているのか、デンマークが歩んだ歴史を含めデンマークという国について概略を述べることにします。デンマーク人が選択した高福祉・高負担という国が日本の次世代を担う人達への参考として何らかの参考になれば、幸いに思っています。

第 1 章 デンマークの高福祉社会とは

筆者の隣に今年 79 歳になるおばあちゃんと、84 歳になるご主人が住んでいますが二人とも国民年金所得者で、敷地約 730m²の土地に建坪約 140m²の家に住んでいます。ご主人は過去に幾度か軽い脳溢血を患ったため、左足が不自給で終日車イスでの生活をしています。おばあちゃんは元気で、町の温水プールに通い、ペタンキューのゲーム遊びにも出ています。ご主人の世話には在宅介護のスタッフが朝晩来て、着替えの手伝いなどしてくれています。今年（2010 年）6 月おばあちゃんは目の手術を受けることになり、車の運転が出来ないため、40 km 先にある病院までの送迎には自治体からタクシーが無料で配車されてきました。手術後約 6 週間間は重い物を運んだり、持ったりしてはいけないとのことで、自治体と協議しご主人は自宅から約 200 メートル離れた介護ホームに預けることをしました。勿論預ける費用は無料では無いのですが、6 週間の介護ホームの滞在費（食費代含め）は大変安いと云っていました。

筆者の周辺には年金所得者の高齢者がたくさん住んでいます、金銭的にも物理的にも何ら心配ない生活をしているように思えます。デンマークの人達は日本の人たちに比べたら高い税金を払っていますが、その払った税金が何に使われているか見えるのです。デンマークでは高い税金を払った見返りとして、隣のご主人には朝晩在宅介護スタッフが来て着替えを手伝ってくれているし、おばあちゃんの目の手術のための送迎には市役所から無料のタクシーが配車されてくるのです。新聞やテレビによると、デンマークにも、お金が足りなくて、生活に困っている人たちもいるようですが、幸か不幸が筆者がデンマークに住んで43年になりますが、見たことも出会った事もないぐらい少ないのです。なぜ、デンマークには、お金がなくて困る人が少ないのか、簡単に云えば、デンマークの人達が長い時間をかけ、習得した生存の知恵だと思います。つまり、貧富の差を無くすことで、全ての人達が持って生まれた能力を発揮し国家運営に参加する、そのことによって、時代の変化や変動の中でも民族が生き残れる知恵を生み出したのだと思うのです。そんなことでデンマークには、生活費が無くて餓死したり、お金がなくて治療が受けられない人の話は今まで聞いた事がないのです。

デンマークの高福祉とは納税されたお金で国民全体の生活過程に必要な主に経済面での支援をするという制度です。その具体的支援策とは、妊婦の無料検診、出産費無料、教育費は小学校から大学まで無料、病院での治療費や入院費無料、18歳以上の人たちの生活費は国庫負担、例えば大学生の生活費は国庫負担、失業保険支給年数4ヵ年（但し財政難のため、2011年から2013年は2年間に短縮）、18歳以上で65歳までの精神的・肉体的に就労出来ない人たちには「早期年金」を国庫が負担、65歳以上の人たちには「国民年金」が国庫から支給されます。その他に高齢者以外でも日常生活に不便を来している人たちには行政から在宅介護スタッフが派遣され、その人たち必要とする、買い物、掃除、洗濯、入浴などの世話も無料で受けられ、所得の少ない人たちには住宅手当、暖房手当が出ます。このようにデンマークの人たちは納税されたお金を使い、国民が生活するために必要とする各種の支援を国または行政が支援する仕組みを作ったのです。

このようなデンマーク人が取り入れた各種の支援策について触れる前に、前にデンマークに居住するためには必ず必要は「個人登録番号」について説明します。

① 住民登録制度

デンマークの「中央個人登録」制度は、1967年、「セントラルパーソナルレジスター」（CPR。3月28日内務省通達第40号）が基になり、翌68年に内務省通達第206号によって「個人登録番号証明書」が発効されるようになりました。デンマークの個人登録番号制度では、観光以外の目的でデンマークに入国し、デンマーク政府から滞在許可証を取得した全ての人達に住民登録が義務付けられています。滞在許可が切れ、出国しなければならない時は移転（帰国）届けを住民登録所に通報することになっています。それによって、その人はデンマークの滞在していないことが確認できるからです。なお住居地の移転者は移転した日から5日以内に移転先の市町村役場に届ける義務を負い、怠った場合は罰せられることになっています。住民登録の個人情報の保管機関は市町村で国家の保管ではありません。デンマークが導入した個人登録番号の歴史を遡ると、デンマークの「住民登録」制度は1924年3月14日付け「住民登録に関する法律」（法律第57号）によって導入されました。この「住民登録」制度の導入目的は市町村の人口を把握するためでした。これ以前は教会が住民の登録をしていました。「住民登録」制度では例えば、禁治産者や自己破産、刑罰暦の登録（1956年に登録廃止）、納税額登録（1962年廃止）、貧困救済金受給暦（1962年登録廃止）など、現在に比べらたくさんの個人情報を登録していました。そして1968年に今日の制度が導入された後においても、例えば、国民及び障害者年金者登録（1973年登録廃止）選挙権暦、国民保健暦（1973年登録廃止）など個人情報を登録していました。今日CPRに登録されている

項目は、名前、住所の他家族構成（既婚、15歳以上単身）など、投票に必要な個人情報、その他移転・死亡などの項目のみとなっています。

デンマークの住民登録では子どもが出生した日から数えてコペンハーゲン市では2日以内に、地方都市では8日以内に市町村役場に届け出るようになっていきます。最近は出産直後病院が中央個人登録所に通知し、母子が退院する前に個人番号を伝えるようにしています。洗礼前の子どもには名前が付いていないため通常父親の姓で届け出し、婚外子の場合は母親の姓で届け出ます。「住民登録」をしますと、「10桁」の個人登録番号が取得できます。この10桁の数字で、生年月日と性別が判別できるようになっています。例えば、「230670-1234」という個人登録番号は、最初の6桁が生年月日で1970年6月30日に生まれ、残りの四桁は通し番号、最後の数字が偶数は女性・奇数男性で性別を表わします。デンマークが導入した個人登録番号はその本人以外に誰も同じ番号を共有していないため、同姓同名による各種の諸問題を解決する上で最適な制度だと思えます。なぜならば、税部署は個人登録番号で過去5年の納税状況が把握でき、警察は個人登録番号で犯罪歴がチェックできるし、医療関係者は個人登録番号でその人の入院歴や往診歴が確認できるためです。

デンマークの「個人登録番号証明書」はプラスチック製のクレジットカード大のカードですが、健康保険証も兼ねています。カードには、個人登録番号、本人の姓名と住所、家庭医者の名前と電話番号が記載されています。そしてこの健康保険証は図書館で本を借りる時の自動貸し出し機械にも適用できます。また、国外での休暇中の疾病による治療や入院にも使えるように、カードの裏側にはデンマーク健康保険庁が英文で「デンマークの健康保険法の規定に基づき休暇中における医療費の負担をすること、重病や死亡の場合は通告ありたい」と書かれ、デンマーク健康保険庁の電話番号とファックス番号が記載されています。医療機関を受診する際には必ず健康保険証として、この「個人登録番号証明書」を提示します。この他、デンマークでは個人登録番号が無いと、銀行に口座が開けないこと、正規の仕事就けないこと、健康保険証が支給されないことなど、長期間生活を続けることはできません。なぜならば、個人登録番号は納税、年金・給与・会社登録、不動産購入や売却、就学、自動車の免許書、図書の借り出しなどあらゆる社会生活の場面で利用されているためです。例えば銀行口座の管理に関しては、その本人ではない限り（或いはその本人から代理権と受けた人では無い限り）お金の引き出しは出来ません。

何れにせよ、デンマークにおいては「個人登録番号証明書」は、「ゆりかごから墓場まで」の過程で社会とのつながりを持つ時は必ず必要になってきます。結婚、出産、就学（試験成績の発表はCPRの場合が良くある）、就職、各種医療機関を利用する時、年金、葬儀など殆どで、多くに場合提示する必要がありませんが、聞かれた時に自分のCPRを伝える必要があります。

② 家庭医の制度と入院費

デンマークの医療制度について触れます。自動車事故や緊急を要する怪我や病気で救急車で運ばれる以外はまずは家庭医に掛かることになっています。デンマークの人たちの殆どは家庭医を持っています。病気になったり、具合が悪くなった場合、病院に行く前に家庭医に診てもらおうことになっています。家庭医の診断を受け、入院が必要な場合は家庭医を通し病院などへの手続きが行われますので、病院で長い時間待つことが無いようにしています。

での対応があります。住民が登録している家庭医は1人で開業の調整は地方行政（市町村）の業務となっています。私（筆者）の家庭医は3年前までは自宅兼診療所でしたが、現在独自の診療所を所有しています。家庭医の診療代は無料です。ただし、診断の結果、投薬が必要な場合、薬代の一部が患者負担になります。私（筆者）が世話になっている家庭医はここ30年以上も同じ医師ですが、私は66歳になった今でも、特に体の具合が悪いあるわけではないので、2年に一回位の割り合いで血圧検査程度の健康診察を受けています。そんなことで、前回の訪日前に（2010年2月）家

庭医で血圧検査を受けました。少し血圧が高気味とのことだったので、血圧を下げるための薬を購入しました。家庭医からアポテック（政府認定の薬販売店）宛処方箋を発行してもらい、町に一軒ある薬販売店にそれを持参し、血圧を下げるための薬（Lisinopril Arrow20mg, 100錠入り）を買いました。私が払った薬代は日本円で1,600円位になっていました。この薬が安いのか高いのか殆ど薬を買ったことの無い私には判りませんが、（1錠の薬を半分に分けて飲むようにとの指示が書いていた）、その後、特に血圧が高くないので飲むことは止めていますが、200日分（100錠×2回）の薬代は1日当たりで換算すると8円というので、自己負担分はそんなに高いとは思いませんデンマークの家庭医は、自宅を兼ねた診察所を持た、自宅とは別に診察所を所有している場合もあります。家庭医は週末や祝日・祭日を問わず24時間の当番制を導入し（電話を入れることで当番中の家庭医に繋がる）乳児の病気にしても大人の病状にしてみてもいつでも連絡を入れることができるようになっています。人口約1500人に家庭医1人の割合いで住民が登録されます。家庭医が休暇とか病休の場合は、別な家庭医が代行します。そんなことで、家庭医が休暇の場合は、地方新聞に家庭医同士の当番が掲載され、また、家庭医が休暇中の場合は、どこの家庭医が代行するか自動電話でした。

デンマークの医療制度では、歯医師は個人経営ですので、歯の治療に関しては歯医者に家庭医を通さず、直接行きます。歯医師の治療費は行政からの助成もありますが、個人負担です。デンマークにおける歯の治療費は高いため、ドイツやタイなど国外で歯の治療を受けている人もいます。眼科の診察を受ける場合は「家庭医」が最初の窓口になっています。怪我による目の治療においても最初は「家庭医」が担当します。デンマークでは病院に入院した場合は、入院した日から退院まで一切の個人負担はありません。私はデンマーク入国1年後の1968年7月腎臓結石で計3週間コペンハーゲン市立病院に入院しましたが、下着から、食事、手術まで一切個人負担が無く、入院当初どうして入院費を払うか心配もしていましたが、「無料」ということで、大変嬉しかったことを覚えています。また、私が大使館に勤務していた1970年代の初め、日本の青年派遣団のメンバー1人がデンマークのホームステイ先で意識不明になり、救急車で病院に搬送され、その後約30日間集中管理室での入院、さらに医療とリハビリのため同じ病院に約1ヶ月入院していましたが、デンマークの病院はその人に対し入院費一切請求しなかったことを覚えています。また、デンマークの病院には、子どもが病気で入院した場合、付き添いの家族用として病院の中に宿泊設備も付いていますが、それも無料です。私の孫の一人に、心臓に欠陥が在って生まれて子供がいます。生後一ヶ月目に国立病院での手術を受け、その後、「ペースメーカー」の挿入手術など含め何度も国立病院に入院し、検査を受け、またこの過程でイギリスの児童病院にも入院したことがあります。今年10歳になりますが、私の孫の治療のために今までどれだけのお金がかかったか、請求書が出ないので判らないでいますが、云えることは、国立病院の集中管理室の維持費は患者1人当たり一日、日本円で約50万円とも居われておりことから考え、また、イギリスの病院に入院するために掛かった、両親の渡航費用、滞在費、入院費など、全て国庫が負担したことを考え合わせると、とても個人では負担出来るお金ではないのです。何れにせよ、デンマークは治療費を払って治療を受ける私立病院も僅かに在りますが、公立病院（地区行政管轄）と国立病院にはお金を払う『窓口』はありません。

③ 出産と育児政策

今日（2010年）デンマークの妊婦は出産までの間に計8回、医師などによる検診が無料で受けられます。その中には胎児のスキャナー検査が2回あり、最初の検査は12週目で2回目の検査は20週目とされています。出産費も国庫負担で本人負担はありません。デンマークの妊婦の出産前後に取れる有給休暇は公務員の場合34週間、（民間企業は29週間）です。子どもの出産で父親が取れる有給休暇は公務員も民間企業に勤める人も2週間です。今日、EU諸国27カ国中で最も女性の就業率が高いのはデンマークで、16歳から64歳の女性の約76パーセントのが就労しています。デンマークの女性が職場に出られる背景に、育児制度が整っていること、就労37時間を厳守して

いること、雇用者と従業員との間で子育てを理由に勤務時間の短縮が可能なこと（報酬もそれに合わせ減額）、子どもが病気の場合有給が取れること、などがあります。例えば、子どもが病気した場合、公務員も民間企業に勤務する人でも1日有給が取れ、子どもが重病の場合、保護者は5日間の有給休暇が取れます。因みにデンマークの給与所得者の有給休暇は年6週間でこの他週末祝日祭日の休みなどが入っているため、デンマークの就労者の年間労働日数は約220日年間と言われていきます。デンマーク人の多くは7月の第2週目から3週間の夏休みを取っています（2010年）。

④ 育児を支援する行政

デンマークでは年間約6万人の子どもが出生していますが、産休後の育児体制を確保する責務は市町村行政にあります。市町村行政は託児所、保育園の設備を確保し、「保育ママ」やベビーシッター制度の導入を通し、育児に当たっています。育児料金は託児所であれ、保育園であれ有料です。料金は各市町村によって、多少異なりまた保護者の収入や預ける時間によっても違ってきます。ある市町村の例で見るとゼロ歳から2歳までの子どもを年間2621時間預けて場合保護者負担として払う育児料は年間約29,000クローネ（約58万円）となっています。また、デンマークの子ども達の多くは「保育ママ」が育児に当たっています。デンマークでは約6万6千人の「保育ママ」が、一人当たり4～5名の子どもを自宅で預かっています。「保育ママ」は行政から委託された年齢20代後半から50代後半までの女性で育児料金は預かる時間数によってその額が違います。例えば、週48時間1人の子どもを預けた場合、「保育ママ」への支払い額は月額5,800クローネ（約11万円）となり、この内の75%は市町村からの助成金となり、保護者の負担額は残る25%となっています。姉妹や兄弟の場合は二人目から保護者の負担が減り、その分行政からの助成額が増えるようになっています。

ベビーシッターを雇う場合でも市町村から助成金ができます。例えば、私の三女夫妻は1歳の長女の育児に隣の家族と一緒に21歳のベビーシッター一人雇っていますが、1歳児2名の育児を週労37時間、ベビーシッターに見て貰うと、月額料金は日本円で約30万円になります。その内の約75パーセントは市からの助成金になっています。この育児費用の補填としてデンマーク政府は年齢に合わせてゼロ歳から17歳まで児童手当を支給しています。児童手当の支給額は毎年調整されます。育児手当は1四半期に分けて支給され、全て0歳から17歳までの子どもを持つ保護者（未婚や既婚場合受け取り人は母親、親権が父親にある場合は父親）に払われます。支給額は無課税です。年齢層で異なり、0歳～2歳までの児童手当額は年間約17,000クローネで（約34万円）、3歳～6歳の年間の児童手当は約13,500クローネ、7歳～17歳の児童手当は年間約10,500クローネ（何れも2010年）になっています。

また、重病に陥った子どもや障害を持つ子どもを持つ親が、自宅で子育てすることに専念した場合は、それによって、失われた報酬（給料）はデンマークのサービス法第42条の規定によって、全額市町村が保障する義務を負っています。仮にその親の年収が1千万円であったも市町村は全額保障するという制度で、例えば、2009年この制度導入を利用した人たちの数は約18,800人の就労者でその為に給与補填として支給された総額は日本円で約240億円になっています。こういうことからデンマークの育児は保護者と行政との連携プレーで成り立っているのです。

⑤ 義務教育について

デンマークの子ども達は、6歳になると義務教育の幼稚園クラス（1年間）に入り、その後1年生から9年生（義務教育は9年生までですが、任意で10年クラスにも入れる）があります。義務教育を受ける子ども達の中には市町村が運営する公立学校に就学する子供の他に、就学中における試験が免除されたり、宗教教育が免除される幼稚園クラスから9年生（任意で10年生）まで学べる保護者運営のフリースクールに入学する子どもも多くいます。フリースクールの運営管理費には国庫から助成金が出ますが、保護者も負担します。また、デンマークには、転校して入る、8年生

以上を対象にした全寮制の学校（エフタースクールと呼ぶ）が多数あります。エフタースクールも保護者の代表が理事会を設立し、その理事会が校長、教員を採用しています。学校運営には国庫から助成金が出ていますが、学費として保護者の負担金があります。保護者の負担額は保護者の収入によって異なり、例えば今日、日本円換算で年収6百万円ある保護者の場合、エフタースクールに払う学費（寮費・食費含め）は年間約6万円となっています。通常の学校で教育を受けられない、障害児、難読症児などへの教育はそのための施設を行政が整え、通学の送迎は行政負担のバスやタクシーを使い、保護者の負担にならないようにしています。そのため、1人の難読症児（**日本では失読症、あるいは学習障害と呼ぶ**）の掛かる教育費は年日本円で250万円、タクシーでの送迎代1千万円を払っている市町村もあると報道されています。

⑥ 試験の評価点数について

デンマークの試験の評価に関して、デンマーク政府は2007年8月1日から以前まで適用していた6点から13点評価方針を改正しました。改正理由は諸外国が適用しているA,B,Cなどの評価表に合わせるためだと云われています。但し、後で説明します「スツデンタエクサメン」、「上級商業試験」、「上級工業試験」及び「HF試験」（高等教育入学資格の取得のため試験）に学ぶ1年及び2年生に関しては2006年の8月1日から適用されました。評価点数の最高点は12点（A）で10点（B）、7点（C）、4点（D）、02点（E）までを合格点とし、00点（F x）、-3点（F）は不合格点の7段階にしました。

⑦ 教師の勤続と労働条件

デンマークの教師には人事異動制度がないため、その本人が望む限り、同じ学校に退職するまで勤務することが出来ます。デンマークの教員資格は全国に適用され、義務教育においても科目別の専門職になっています。校長の選任は公募により、教育委員会が決め、校長職も本人が望む限り人事異動はありません。教科書などの教材の選択は各科目の先生の責務となっており、毎年配布される予算内で教材を調達しなければならない事情もあって、新しい情報はインターネットなどを利用し、基本となる教科書のほとんどは8年から10年間使うことにしています。そういうことで、教材の再利用を通し、財源を節約し、ペーパー資源の削減にも繋げているのです。因みにデンマークには教材の国家検定制度がありませんので、通常デンマークの学校で使われている国語、理科、算数などの教材の殆どは現場で働く先生が書いた本が多く使われています。

今日、義務教育におけるデンマークの教員の労働時間数は、一般の労働市場に合わせ週労37時間をフルタイムとしていますが、教師の労働時間数はその中から6週間の夏休みや週末そして祭日を除き年間1680時間をフルタイムとしています。この内、授業に当てる時間数は約916時間で残りは予習・復習・教員会議・試験など、授業以外の労働時間数となっています。デンマークの義務教育ではクラブ活動など放課後、子どもの習いことのために教師は拘束されることは無く、楽器やスポーツなど子どもの習いことは、行政が別に専門の施設を用意し、その指導員に報酬を払うようにしています。そんなことで何処の学校でも午後4時になると先生も生徒も帰宅し学校は空になります。

⑧ 授業料も入学試験も無いデンマークの学校教育

学校教育に関し、デンマークと日本の大きな違いは、デンマークには進学校とか有名校など、学校にランクが付いていないことです。コペンハーゲン大学がオーフス大学に比べ優秀だとか、就職に有利だなど、語られることはないし、また、日常生活において卒業した大学名はよほどのことでは無い限り語られることが無いのです。その背景にはデンマークという国は人口は僅か550万人程の国であるため、国民同士の競争による国民間の優劣は避け、教育は各個人を育てるという方針を貫いているためだと思います。ですから、試験の点数の発表においても個人間の競争を避けるため、

個人登録番号を使い、名前を出さないのも、試験の点数によって人間の優劣を決めないという配慮があるためだと思います。デンマークの進学について触れます。

デンマークには、高校や大学など、上級学校への入学試験制度が無いので、義務教育後の進学・進路に関しては、就学年数3年の商業・工業・普通高等学校に進学することに適しているか、手に職を持つための教育を受けるかなど、本人と保護者、そして学校の教育指導員の間で語り合いで進むべき進路を決めることにしています。デンマークには学校で理論を学び、現場に出、理論を理解する「職業教育課程」がたくさんあります。例えば、左官工、大工、航空整備工や自動車整備工の職を目指す人、あるいは事務補佐員、歯科補助員、栄養士補助員としての職に就きたい人は職業教育課程を選考した方が良いでしょう（デンマークのこの種の教育を受ける人達は、商業や工業高等学校の中にある職業課程科を選ぶあるいは、地域においては職業専門学校がある）。なぜならば、「実習」の時点から見習い給料が出るためです。何れにせよ、早く収入になる仕事に就く場合は職業教育学校に進む方が特です。最近の男女の進学先の傾向を見ますと、女子は普通高校を選び、男子は商業・工業高等学校あるいは職業学校を選んでいるようです。その為か、例えば、大学の医学部の学生の7割は女子で、法学部の5割は女性だと言われています。

デンマークの職場には「会社員」という職業が無く、職業はあくまでも具体的職種での教育をしています。例えば、私（筆者）の場合、最終学歴が商科大学の「会計学科」を卒業しましたので、卒業資格のタイトルは日本語に直訳すると『会計学学士』です。デンマークの人達の名刺の多くには勤務先名と共にその本人が取得した資格が記載されていますが、名刺に学歴を記載することでその人が受けた教育が判るようになっていきます。私の名刺にデンマーク語で「Civiløkonom HD」（日本語訳「商学士」というタイトルを付けているのもその為です。デンマークの職場は日本の職場のように、「中卒」とか「高卒」あるいは「大卒」を採用し、仕事の中身を教えるための教育をすることはしません。仕事の内容は学校で教え、職場では学校で得た知識を元に直ぐその仕事が出来るようにしています。どのような職場でも人材募集においては具体的業務内容が掲載されます。そんななかで、職人（大工、電気工事、左官など）教育の中には「見習工」という教育制度があり、銀行においても「銀行見習生」の教育制度が採用されています。この制度では、この種の業務の基礎教育を職業学校で受けた後（約2ヵ年）後、職場に就き実務を学ぶと同時に学校での理論を学びます。例えば大工さんが人手が必要になった場合、「大工の見習職人募集」を新聞広告に掲載します。それによって採用された「見習職人（工）」と雇い主は、雇用契約を結び、その中で学校で学ぶ期間（何月何日から何週間）と職場で働く期間が決まります。その為、デンマークでは見習職人の職場と学校との連携体制が取っています。見習職人教育には国から助成金が出ているため、見習職人として働く人達には「見習職人（工）」としての給与が出るようになっていきます。

「普通高等学校」は専門的職業の知識や実践を得ていないため、就職するための職種にはならないため、普通高等学校に進学する学生は、高校卒業後さらに職業に就くための進学先を選ぶことになります。その中で例えば、デンマークには「Kontorassistent」（事務補佐員）という職業があります。「事務補佐員」になるための職業に就くためには、普通高校や商業高校を卒業して後約33週間の教育期間があります。その教育期間で習得する教育科目は「予算と経理」、「コミュニケーションとコレスポンス（通信と文書の書き方）」、「管理と業務処理」、「人事と給与管理」、「政治と経済」「組織と協力」そして「法律」となっています。このような教科の試験に合格しそれで、「事務補佐員」としての資格が得られず。この資格を持つことで、一般企業、役所、病院含め「事務の補佐員」として働けるのです。

デンマークでは入学試験制度がないこと、授業料も取らないため、仮に進路を間違えてもやり直しが幾度も出来るのです。例えば、普通高等学校から職業教育学校、職業教育学校から工業高等学校など転校や入学何時でも自由に出来る制度が整っています。大学においても、例えば経済学部から

法学部の学部変更も問題ないし、コペンハーゲン大学からオーフス大学への転校も問題ありません。それとデンマークの中学でも高校でもましては大学においても、放課後のクラブ活動は日本の学校のように学校をあげて支援する運動が無いので、学校同士の対抗試合もないのです。デンマークでスポーツと言えば、サッカー、ハンドボール、あるいはバドミントンなどがありますが、これらの競技でも学校同士の全国大会という競技試合はありません。例えば、日本の高校野球のように、各都道府県から1校選び出し、甲子園で日本一を決める、そのような学校同士の対抗試合は無く、これらスポーツ競技は全て町のスポーツ競技となるのです。ですから、高校生においても、学校でのクラブ活動が無いので（コーラス、楽器のバンドグループは在るが）、学校での活動は勉強のみとなり、趣味や余暇の活動は学校とは別な場所での活動となっているのです。デンマークには特にスポーツに興味がある人たちのための、スポーツに重点をおいた学校もあります。そういうことで、将来スポーツで身を立てたいと思う人たちはスポーツ学校に就学します。大学への入学資格については、いろいろ方法があります。その中からごく一般の高等学校卒業について触れることにします。

⑨ 高等学校の卒業と大学進学

3カ年間の学業成績の平均点は最低02、最大12点としています。商業高等学校の卒業資格は日本語に直訳すると「上級商業試験」(hhx)と呼び販売や企業会計学（企業会計学とは企業の運営管理に必要な損益計算、企業の商品開発や企業戦略などを学ぶ教科）含めたなどの試験成績が含まれています。「上級商業試験」を取得した学生の多くはその後、商科大学や総合大学に進学しその中には上記で触れた「事務補佐員」の教育を受けその職に就く人もいます。工業高等学校卒業資格は「上級工業試験」(htx)と呼び、建築学、製造など試験の成績が含まれています。工業高校卒業生は職人になる人は少なく、工科大学、総合大学（物理・化学学科）などへの進学する人が多いと思います。私（筆者）はデンマークの高等学校卒業生（普通、商業・工業）の進路や職業について、「思う」という表現をしたかといいますと、デンマークの学校教育を受け卒業した人達の職業に関する定まったパターンが無いからです。

日本の普通高校の卒業に該当する資格をデンマークでは「ステudentエクサメン」(stx)と呼んでいます。卒業資格は最低02、最高12点になっています。これら「stx」を取得するためには、3年間で最低10教科の口頭及び筆記試験に合格し、卒論を出すことになっていますが、デンマークの高等学校の選択科目は70教科もある事から、学生の中には30教科前後の試験に合格している生徒もいます。

「stx」の点数が高いほど、大学で入学出来る学部が多くなります。例えば、「stx」を10点以上の点数で卒業すると、デンマークの大学のどの学部にも進学できます（因みにデンマークとノルウェー、スウェーデンの3国間における高等学校や大学の卒業資格を承認し、3国間における進学先国は自由に出来る）。ただ、高校卒業生の中で、「stx」を10点以上を採る生徒の数は5～6%前後と狭き門になっています。デンマークの試験問題は考えて答えを出すことに重点を置き、一つの答えだけに的を絞るのではなく、いろいろな問題の解き方を求めることによって、新たな解決の方法を見出すということです。良い点数を取るためには、教えている教師が感心するような解答を出す必要があるのです。例えば、筆者が受けた商大での筆記試験問題（4時間）では、実存する企業会計報告書（損益計算書と貸借対照表書）が出され、「この会社の経営改善について述べよ」が試験問題として出されことを覚えていました。この問題に対し、どのような解答を出すか、解答する範囲を決めることから始めます。例えば、機械や備品の原価償却だけで、取りあえず、企業の経営改善に繋がるか（節税対策を採るか）、それとも、販売に力を容れるか（収益増大策と採るか）など解答する範囲から解答用紙を書き始めます。そんなことから4時間という試験時間は決して多くなく、自分が納得し、教授が感心するほどの完璧な解答を出せることは至難のことで、私が商大時代で最高点の13点を取得した学生はゼロでした。

試験問題に対する解答が多種に渡るため、デンマークの試験では試験官制度を導入しており、必ず他校の先生による答案用紙のチェックするようにしています。デンマークの学校は8年生（日本の中学2年生）から国家試験として1教科当り3時間～4時間の筆記試験がありますが、科目によっては筆記試験には教科書・参考資料など持ち込みが許されています。試験問題への解答は何枚にもなるレポートとして提出するようになっていきます。口頭による暗記試験は20分程度のテストですが、暗記試験においても他校の教師が試験官として採点に当たります。例えば筆者が商大で受けた口頭試験の問題の中で「この教科書の内容を説明せよ」という問題が出ました。その教科書とは英文で書いた約500ページの『予算論』だったのです。

職業学校においても試験のやり方は同じです。既に触れましたが、デンマークには学校間における生徒の成績の良し悪しが無く、進学校とか、進学のための学習塾も無いです。因みに今年（2010年）全国で、最高点で卒業した学生は3年間の就学中に32教科の試験を受けその平均点が12.3（注）だと報道されていました。（注）最高点が12点であるが、最も高度な科目試験では0.3ポイント追加点が得られるので、総合点も増えた。

デンマークには高等学校卒業後、直ぐ進学し勉強に入るものもありますが多くの学生は、「サバドール」といって、半年から1年間学校から離れ、国内外で各種のアルバイトをし、そのお金で旅をし、社会見聞をしたり、就学期間中のハードな勉強から休みを取っています。私（筆者）の娘三人は高等学校卒業後、日本に半年から1年日本に滞在し日本語と家族訪問などを通し日本の生活や文化に触れることで「休学＝サバドール」としました。デンマークの大卒の資格は「日本の大学の修士課程」であるため、大学を卒業する頃の年齢は20才の後半になっています。その理由はデンマークの大学の就学年数は学部にもよりますが5年～7年になっているためと、大学を卒業するためには当然なことに試験で合格点を取らない限り卒業出来ない（3回まで受験の受ける機会がある）ためです。しかしながら、後で触れますが、大学での教材の量が膨大でなかなか授業に追いついていけなく、試験を受ける準備が出来るまで、試験を受けことを待つためです（試験を受けるかどうか学生の申し込み制になっている）。このようなこともあって、デンマークでは25歳以下で大学を卒業する学生は稀で殆どの学生は28歳頃を大学卒業の年齢としているのです。

デンマークには、企業にしても公務員にしても、日本のようにまとめて新卒を採用する「新入社員制度」が無く、企業も行政もその都度必要とする職種教育を受けた人を募集しています。そういうことから、卒業直前に労働組合に加盟し、大学卒業をしても直ぐ、就職できない人には労働組合が失業保険が出る仕組みになっています。例えば私（筆者）が商大を卒業する直前に「デンマーク法学・経済学士組合」から組合と失業保険加入の申し込み書を受取りました。私の長女は大学の医学部を卒業し、神経科医の職に就いていますが、「デンマーク若手医師組合」に加入し、繊維デザイナーの次女は「デンマーク繊維組合」に加入しています。大学の文学部と経済学部を卒業し会社員になった三女は「デンマーク法学・経済学士組合」と「デンマーク修士組合」の二つの組合に加入しています。そのことで、三女の場合は、企業以外にも高等学校で教えることも出来るようになっています。このようにデンマークの学校教育「職種」教育でもあり、それによって「職種」組合としての労働組合が出来たのです。なお、デンマークの労働組合については第3章の中で触れたいと思います。

⑩ 18歳で成人生活費は国庫から

デンマークでは18歳で選挙権を取得し、被選挙権も18歳になっています。デンマークの保護者（親）の子供に対する扶養義務は18歳までです。デンマークでは18歳は高校2年から3年生の学生、あるいは、職業学校に通う学生の年齢です。この中には18歳を越え精神的、肉体的理由で就業も就学出来ない人達が居ますが、その人達には「早期年金制度」が適用されます。早期年金制度

については後述しますが、その本人の体調（精神的・肉体的）に合わせ、支給する年金額が変わりますが、最高額は日本円で年約 340 万円(2009 年) になっています。成人年齢に達した 18 歳以上の学生の生活費は、デンマークでは SU（就学支援金）と呼び、国庫から生活費が支給されますが返済する必要は在りません。就学支援金の支給額は毎年調整され、今年（2010 年）の例で見ると月額約 5,100 クローネ（約 10 万円）になっています。子育てをしながら通学する女子には就学支援金は倍額が出ます。障害を持つ学生には通学時などにおけるヘルパーが必要なことからさらに増額れることになっています。就学支援金だけでは生活出来ない学生のために国庫から融資を受けることができます。ローンは一度にたくさん借り入れるのでは無く、生活費への不足分ということで、借りられる限度額があり、その年によって少しずつ増額されますが、月額にして約 2700 クローネ（約 5 万 4 千円）となっています。借りたお金への利子については、就学中は利子の負担は無く、卒業後にローンの返済が始まりますが、その時に払う利子は公定歩合プラス 1.0%を加えた率を払うことになっています。こういうことから、デンマークの保護者は就学中の学生に仕送りはしていません。この仕送りに関し「成人になって親から仕送りを受ける分けにはいかない」というのが、学生の言い分であり、親も「自活能力を身に付けるためにも、仕送りしない」が主な理由になっています。また、納税額の高いデンマークの人たちにとって、税金を払った後に残ったお金の中から、住宅のローンを払ったり、車のローンを払ったりしている中で子どもに仕送りする余裕の無い人達も数多くいることも事実です。

日本の大学生の仕送りに関し、2009 年 4 月 7 日付け産経ニュースに「私大生の仕送り過去最低月 9 万 5 7 0 0 円 7 割が奨学金希望」と書いていました。この記事では（以下引用）、「自宅外通学生の平均世帯年収（税込み）は 9 1 5 万 9 0 0 0 円（前年度比 4 5 万円減）。受験費用、初年度納付金などを含めた、入学年度にかかる費用は 3 0 4 万 6 7 6 1 円で、年収の 3 3. 3 %に及んだ」と書いています。そしてこの記事では「仕送り額は 8 年連続で減少」とも書いています。ということは、日本の学生の経済状態は厳しい状況に追い込まれていることがこの記事から読み取れます。

デンマークの学生の多くは国庫から支給される就学支援金で生活し、就学支援金だけでは生活費が足り無い学生には、国の融資制度を利用するよう国で進めています。その理由はデンマークでは学部さえ問わなければ大学に入学することは難しくありませんが、卒業するのは大変困難でアルバイトに時間を充て過ぎ勉強に力を容れないと卒業出来ないためです。コペンハーゲン大学の例で見ると毎年入学する学生に対し卒業できる学生の割合は 3 割程度になっており、大学では正規の就学年数（経済学部・法学部の場合 5～6 年）で卒業するためには、予習・復習含め週 40 時間から 50 時間の勉強が必要であると語っています。そんなことで、アルバイトに力を入れ過ぎると留年しざる得ない状態に陥るためです。理由はデンマークの大学に就学すると膨大な数の教科書や教材を理解しなければならないためです。その一つの例をあげます。コペンハーゲン大学の政治学科の就学年数は学士過程（3 年間）と修士（2 年間）過程の計 5 年間となっています。2009 年に入学した学生が 3 年間の学士過程で取得しなければならない科目数は「政治基礎論」、「政治論と思想史」、「経済理論」、「国家行政論」、「公法論」、「国際行政論」など全部で 10 教科となっています。そして上記「政治基礎論」という科目はさらに、「国家構造と民主主義」、「デンマークの政治制度と民主主義」、「行政と民主主義」及び「EU と国際社会問題」の 4 つの分科に分かれています。この 4 つの分科で使われる教材は 35 冊計 950 ページ（内約半分は英文の教材）となっています。また、上記「政治論と思想史」では過去の哲学者（プラトーン、アリストテレス、カント、ロックなど）の思想を含めた国家のあり方についての教材数は計 54 冊 800 ページとなっています。このように 3 年間の学士過程で読まなければならない教材は何百冊にもなるのです。そんなことで、学士過程の 3 年間、そしてその後、修士課程での 2 ヶ年間、毎週 40 時間～50 時間勉強したとしても試験に合格することは大変な困難であるためです。

⑪ 職場を頻繁に替えるデンマーク人達

デンマークの人達は、仕事へのモチベーションを高め、自己の可能性を追求しそれによって所得増を見込むため職場を頻繁に変えます。デンマークの統計によりますと、同じ職場での勤続年数は男女とも8年程度になっています。最近、著者が住む領域に電力を供給している配電会社の社長が68歳で退職しましたが、彼の略歴で職場を替えるデンマーク人様子が解ります。彼の職業は大工さんから始まりました。その後、彼は建造物構造技術者の資格を（注）取りその職に就き、さらにエンジニアとしての教育を受けその職に就きました（注）。その後、ホルケスコール（デンマークの公立小中学校）にヘッドハンターされ教育者となりました。彼はその後市役所の技術部部長に転職し、その後さらに、配電会社社長に就任、そこで18年間勤務し退職しました。

（注）建造物構造技術者（英訳：Bachelor of Architectural Technology and Construction Management）とは建造物を完成されるための基礎設計から構造物の強度計算、規模や材料の選択含め、各種業者や行政とのコーディネートをやる役割を持つ技術者で教育期間は3年半の実習と理論教育を受けることになっている。建造物構造技術者の教育機関は、コペンハーゲン産業アカデミー、中西部産業アカデミー、南西部産業アカデミーを含めデンマークには全部で6ヶ所にある。

塗装工から大臣になったデンマーク人もいます。その人の経歴を見ますと、この人は1926年北ユトランドの田舎町に生まれ、1945年塗装職人となりました。1947-48 高等学校に就学し、1953年教員資格取得し教員になっています。1964年から1970年までフォルケスコールの校長を務め、その傍ら社会民主党のオーフス市議会議員として1966年から1997年まで務めています。その後、オーフス市助役として1970年から1982年まで務め、1982年から1997年までオーフス市長を務めました（オーフス市とはコペンハーゲンに次ぐデンマーク第二の都市）。しかもこの間全国市町村審議会会長を1979年から1982年までと1986年から1992年までの2回に渡り兼任し、その後、1997年には内務大臣に就任し2000年まで務めています。

このようにデンマークには、略歴を見ただけで楽しくなるような転職を繰り返している人がたくさん居ます。勿論、職業学校で塗装工の教育を受け、生涯塗装工で終える人も居ますが、中には前出した人のように塗装工から大臣にもなっている人がいるのです。この裏には誰でもキャリアアップするための入学金も無く、割安に就学出来る学校がたくさんあるためです。そういうことから、新たな職業に就きたい人は資格教育を受け、その資格を持って職替えを繰り返しているのです。最近の報道によると、今年（2010年）サラリーマンの約22パーセントが職換えすると報じていました。また、デンマークの給与所得者が頻繁に職場を変える背景には、長年かけて作り上げた「職種別」労働組合制度と、国が殆ど無料で再教育が受けられる教育機関を用意しているためです。

ここで私（筆者）がデンマークに渡航した理由とデンマークでの生活の中で経験したことについて触れたいと思います。私がデンマークに向けて出発したのはいまから43年前の1967年3月26日です。この当時、一番安くヨーロッパに行く方法は船と鉄道を利用することでした。青山学院大学を3年で中退し、アルバイトで貯めたお金と友人知人そして兄弟からの資金援助を受けて集めたお金は約350ドルでした。横浜の港から船でナホトカに向けて出発し、モスクワ、ヘルシンキ、ストックホルムを経由し、デンマークの首都コペンハーゲンに着いたのが1967年4月7日でした。

私がデンマークに留学することにしたのは、デンマークの福祉の財源となっている「所得の再配分」の仕組みを知りたいと思ったためです。この当時からスカンジナビア諸国の社会福祉は知られており、その中で私がデンマークを選んだ理由は、小国であること、高景気で労働人口不足で直ぐお金が得られる仕事があることが判ったためでした。生活費をアルバイトで稼ぎながら、3年間位の年数をかけ、デンマークの金持ちから貧乏人にお金を配る社会福祉の仕組みを知ることによって、近い将来、日本でも役立てると思ったためです。そんなことで、私はデンマーク入国後、ホテルの皿洗いをして生活費を稼ぎ、デンマーク語を習得するための最も安い方法として農場にホームステ

イもしました。その後、入学試験も授業料も無いコペンハーゲン大学の政治経済学部に就学しました。そして当初の予定に入れていなかったデンマーク人との結婚をし、そのことで、帰国することを止め、イタリアの航空会社に就職しました。イタリアの航空会社ではコペンハーゲン空港で地上業務員として飛行機の発着への手伝いと顧客へのサービス業務をしました。しかし、毎日同じような業務の繰り返しは私に望む仕事ではなかったため9ヶ月で退職しました。その後、在デンマーク日本大使館に現地補助員として再就職し、領事事務、会計、人事事務の補佐をしました。そして、35歳の時、8年間務めた日本大使館を辞め、養豚農場経営を始めました。41歳の年農場経営をしながら商大の会計学科に学び、5年間かけて卒業し、同時にデンマークと日本の各種業界の橋渡しをする会社『スズキ・リサーチ・アシスタンス』（S. R. A）起業をしました。手がけた主な業務は、デンマークの風力発電機を日本に輸出することでした。この事業の過程で研修センター「風のがっこう」を開設しました。デンマーク入国後今年（2010年）で43年間になり、現在デンマークの『国民年金』所得者になっていますが、私が歩んだデンマークの43年の生活がデンマークの高福祉高負担社会の中での生活でもあったのです。

⑫ 生活費のセイフティーネット

1) 後期給与制度

日本のように一時金の退職金という制度がない代わりにそれに代わる年金制度の1つに給与所得者の多くが積み立てしている年金、後期給与と呼ばれている年金制度があります。この制度への加入は任意で、「国民年金」が受取れる前までの、「後期給与」を取得するためには次の条件を満たす必要があります。

この後期給与を受け取れる条件は下記の通りです。

- ・失業保険組合のメンバーであること
- ・後期給与制度に加入していること
- ・全額取得する場合には30年以上の積み立てが必要であること
- ・後期給与取得の条件を満たすか後期給与証明を申請し取得すること。

デンマーク政府は国民の平均年齢が増えたことを反映し数年前に、後期給与を取得できる年齢を引き下げました。それによって現在65歳から取得出来る「国民年金」は、1978年1月1日以降に生まれた人たちの場合、受給開始年齢は67歳に引き下げられした。よって、現在60歳から64歳まで受けられる「後期給与」は1978年以降に生まれた人たちにおいては62歳から国民年金が支給される66歳までの5年間であるということとなりました。後期給与支給額は毎年調整されますが、年間で税込み約16万クローネ（約320万円）になっています。

2) 早期年金制度

デンマークは18歳以上で成人となり、その後は働いて自活するかあるいは国庫からの支援で生活するかこの2つの方法しかありません。大家族制を維持している例えば中近東からの人たちは別としても、ほとんどのデンマーク親や保護者は成人した娘や息子を同居することはなく、経済的支援もしません。そのような状況からデンマークには18歳以上で精神的・肉体的に就労できない人たちに対し早期年金を支給する制度があります。早期年金の給付対象年齢は18歳から国民年金が取得出来る65歳までです。早期年金所得者の条件は、デンマーク国籍者でデンマークに定住している人、デンマーク国籍ではない場合の給付条件は、15歳から65歳までの間に10年以上デンマークに居住した人、早期年金の給付を受ける時点で5年以上デンマークに定住している人など、多くの条件を満たすことが必要です。早期年金で生活をしている人たちの数は現在約25万人います。早期年金所得者数を年齢層別に見ますと、18歳～24歳で約3800人、25歳～39歳で2万8000人、そして40歳～59歳で約14万2000人となっています。

早期年金支給額は、2010年の例で見ますと単身の人は年間税込み 195,420 クローネ（約 390 万円）となり、夫婦の場合（夫婦とも早期年金所得者）1人当り 166,104 クローネ（約 330 万円）になっています。その他、薬代や歯の治療費などで早期年金額だけでは不足する人たちに対し、行政からその都度の審査で助成金が支給されることになっています。

これらの支給額は、結婚をしているかどうか、あるいは、所有する資産額や所得によって減額されます。このようにデンマークの居住者は就労者であろうと障害者であろうと受けられる生活保障はほとんど同じであるということです。そして 65 歳になると国民年金所得者の対象になります。国民年金だけでは生活できない人たちには住宅手当など各種の手当て国民年金に加算されて支給されるしくみになっており、これが他界するまで支給され続けます。

3) 生活保護(kontanthjælp) 支援制度

デンマークの生活保護支援制度とは失業保険支給期間が切れた人、精神的にも肉体的にも就労する能力があるにも関わらず、疾病、出産、別居や離婚で自活出来ない人や家族を対象に現金で支援する制度のことで、デンマーク語では Kontanthjælp（日本語に直訳すると現金支援）と呼んでいます。この現金支援の受給条件は：

- ・ デンマークに居住していること、
- ・ 労働市場に参加（disposal）し、積極的に求職活動をしていること
- ・ 配偶者（同居パートナー）にも経済的自活能力が無いこと、
- ・ 配偶者の資産（自家用車、自宅など不動産含めた）を含めた資産額が 10,000 クローネを越えないこと。

などになっています。

現金支援額は 25 歳以下と 25 歳以上の年齢で支援される金額が違いました、家族と同居しているか家族と離れて生活しているかによって支援額が違い、さらに支援期間によって支援額が違います。このことについて最初 6 ヶ月間支援される（6 ヶ月を過ぎると減額される）支援額を見ますと以下の通りです。

25 歳以下の場合の現金支援額（2010 年、月額税込み）は：

- ・ 家族との同居 3,065 クローネ
- ・ 1 人生活 6,351 クローネ
- ・ 妊婦（妊娠後 12 週間以上） 9,857 クローネ
- ・ 子ども（本人の）が居る場合 13,096 クローネ

25 歳以上の場合の現金支援額（2010 年、月額税込み）は：

- ・ 1 人生活 9,857 クローネ
- ・ 配偶義務を持つ場合 13,096 クローネ

などになっています。デンマークでこの制度の支援を受けた人達の数年間を通し約 73,000 人（2007 年）になっています。

4) 国民年金制度

2008 年におけるデンマークの総人口 5 4 7 万 6 0 0 0 人の内 65 歳以上の人口の占める割合は 15・6%で、人口数で見ると 85 万 3 0 0 0 人になっています。この数値を 10 年前の 1 9 9 8 年の数値に比べ 0・7 ポイント増え人口数で見ると約 6 万 2 0 0 0 人増えました。このようなことで、

デンマークの人口の高齢者化が進んでいることがわかります。デンマーク人の平均寿命は2006～2007年で見ると男子で76歳、女子で80・5歳となっています。

●取得額や税の調整で貧富の差をなくす

現在デンマークでは65歳になると国民年金者の対象になりますが、国民年金を取得するためには次の条件を満たす必要があります。

- ・デンマーク国籍であること
- ・デンマーク定住者であること
- ・15歳から65歳までの間に最低3年間デンマークに定住していること
- ・全額支給資格は15歳から65歳までの間に40年間デンマークに定住していること（この年数に満たない場合、国民年金の支給額は減額される）。

国民年金は基礎額と年金手当に分かれています。年金所得者の収入状態によって基礎額も年金手当でも減額されます。国民年金の支給額は毎年調整されます。例えば2010年における国民年金の基礎額は約6万5400クローネ（約130万円）です。それに年金手当は単身者の場合約6万7900クローネ（約136万円）が加算され、よって合計額は税込みで13万3300クローネ（約267万円）となります。夫婦とも国民年金所得者の場合の年金手当額は単身に比べ減額されます。年収約27万7千クローネ（約550万円）以上の年金所得者は年金の基礎額が減額され、また高所得（有価証券や利息収入などを含めた所得が年間約49万クローネ（約1千万円）を超える65歳以上の人たち）は『国民年金』を受けることは出来ません。

そういうことから、デンマークの高齢者の中には所得や資産が多く国民年金が減額されたり、まったく国民年金をもらえない人たちもいます。例えば2007年の数値で見ますと、国民年金所得者と呼ばれる65歳以上の人が83万5635人います。この中で2007年における国民年金所得者数は約82万9000人でこの差約6635人が所得が多いため、「国民年金」を取得することが出来ない人たちとなっています。それでも、人口比で見るとその割合は僅か0.8%に過ぎないのです。ここにもデンマークの貧富の差が少ないことが見えるとも思います。要するに、デンマークの社会福祉政策の中で国民年金について言えば、デンマークで生活する上で最低限必要とするお金は国民全体が納めた税金でカバーすることにしていますが、生活するうえで充分なお金がある人には国民年金は支給しないことにしています。

読者の中には、税金を払っているのにも関わらず国民年金をもらえないのは不合理ではないか、と思われる方もいると思いますが、国民同士の貧富の差を少しでも減らための政策が後に見えます。不合理とも思えるような国民年金の支給制度ですが、これもデンマーク人の教育を通じた得た共存の精神が国民の中に浸透しているためだと思います。その他の高齢者福祉として支援策には、高い家賃を払う年金所得者への住宅手当、光熱支援、健康手当、住宅所有者への固定資産税の減額などの支援策があります。筆者も昨年、65歳になり、デンマークの「国民年金」所得者になりました。今現在も高額所得者ではありませんので、上記に掲げた、国民年金の基礎額と「単身」の手当額全額受取っています。デンマーク人の平均年齢（2008-2009年）は男子で76.5歳、女子で80.8歳となっていますが、男性の平均年齢で他界するまでに、受給する「国民年金」の総額は2010年の金額で計算すると約153万クローネ（13万3300クローネ×11.5年）となり、現在の為替レート（1クローネ約15円）と計算したとしても約2300万円の額になるのです。借家に住む人達にはこの他に住宅手当の支給があり、他にも必要におおじ光熱支援などの支援があります。

⑬ デンマークの住宅手当

デンマークには住宅手当制度があり地方行政が担当します。デンマークの住宅手当制度は、学生、早期年金所得者、国民年金所得者にも適用されています。住宅手当額は、家族の所得と資産状態、

家賃の規模、住宅のサイズ、同居する家族数によって支給される住宅手当額が決まります。この中で家賃を例にとってみますと、住宅手当が貰える人の条件は家賃の占める割合が所得の11%を越え、年間14,500クローネ（約29万円）以上の家賃を払っている人が対象となっています。住宅手当の支給限度額は年間40,620クローネ（約81万円）となっていますが、身体の不自由な人、公団住宅に入れない人、4人以上の子供と一緒に住んでいる人にはこの限度額以上の住宅手当が出ます。また、住宅手当は課税対象額には入らず無課税になっています。

私の家の向いの建物にオスカーと呼ぶ犬と一緒に、今年（2010年6月）から国民年金所得者となる単身の男性が住んでいます。彼はその家の二階約60m²を借りて住んでいます。彼の家賃は月額2,400クローネ（約4万8千円）で、収入は国民年金と労働市場年金を合わせても、年間の総所得は14万クローネ（約280万円）との事です。彼の場合申請すれば住宅手当が貰えます。彼は高齢者の住宅手当の受領条件である、収入額に占める家賃の割合が11%を超えているためです

（彼の場合約21%）。一方私の隣には83歳と78歳の高齢者夫妻が約800m²の土地に150m²位の建物に住んでいます。持ち家であるので、住宅手当が出ませんが、ご主人が幾度かの軽い脳溢血に遇いそのため、体が少し不自由なため、家の中での生活が多くなっています。そのため、暖房費への手当が出ています。その他、高齢者への支援策には、国鉄の割引切符があります。私が65歳になって一番特をしていることがあるとすれば、ユトランド半島からコペンハーゲンまでの汽車賃が半額になったことだと思います。また、デンマークテレビやラジオの受信料も単身の国民年金所得者は半額になると聞いています。その他にも入れ歯、メガネなどへの補助金など、いろいろな高齢者への補助金策が採られているようです。

⑭ 在宅介護制度

この章の冒頭で触れましたが、私の隣の家に住む84歳のご主人と79歳になる奥さんとは、毎日のように顔を合わせ、午前や午後のコーヒー頂き、昼食や夕食などにも幾度も招待されています。頻繁に出入れするので、隣との境界線に植えてあった、垣根の一部を取り外してお互い行き来し易いようにしました。隣のご主人は、足が不自由なため車イスの生活をしています。庭や外の手入れは奥さんの仕事で、奥さんは家の中と外の仕事を1人で処理しています。そんなことで、芝刈り機を共同購入し、芝生を刈る手伝いや、大きな庭に何十種類の草花が生える花壇の整備や手入れの手伝いをしたりしています。ご主人には朝晩の着替えの手伝いに在宅介護のスタッフが来ていますが、脳溢血の影響で特に左足が旨く動かないため、トイレや風呂場で倒れたり、居間で倒れたりすることもしばしばあります。ご主人の身長は約190cm、体重100kgと重いため、細い奥さんでは、ご主人が倒れても1人で立ち上げさせることが出来ないため、その時は在宅介護に電話すると、夜中であろうと日中であろうと来てくれます。何れにせよ週末を含め、高齢者の誰でも必要とする介護を無料で受けられる制度を作ったデンマーク人の凄さに関心と幸せを感じています。なぜならば、デンマークの高齢者への介護政策を見ても、資産や貯金をたくさん持つ豊かな高齢者も、国民年金しか無い高齢者も日常生活において貧富の差が感じられないためです。

⑮ 高齢者サービス

デンマークの世帯数は約256万4千世帯（2009）、その内の39%が1人暮らしです。2人暮らしの割合が約33%でデンマークの世帯数の約72%が1人暮らしか二人暮らしであるということです。私が住んでいる町でも、一人暮らしか夫婦2人暮らしで20歳以上の子どもや子どもの夫婦と一緒に生活している人たちはゼロです。高齢者対象のサービスには、在宅介護サービスのほか、バス旅行や遠足、リハビリを兼ねた遊びなど数多くサービスがあります。例えば隣のご主人は週3日、隣の町の集会場でリハビリを受けたり、映画鑑賞、ゲームなどで出かけていますが、車イスでの送迎にタクシーを使い、コーヒー、昼食代を含め払うお金が1回当たり100クローネ（約2千円）とのことでした。彼の家から普通料金で隣の町までタクシーを利用すると往復で500クローネ（約1万円）かかりますが、それがコーヒー代食事代含めこれだけ安くサービスが受けられるのは地方自治体から助成

金が出ているためです。このようにデンマークの高齢者サービスは病院に行くにも、遊びに行くにも個別のサービスが受けられるようになっていきます。隣の夫婦は、「素晴らしい制度だ」と言っているのは解るし、また、地方行政予算の約3分の1が福祉関係費の歳出となっていることでも解るのです。そうかと言って、費用削減ため、デンマークでは民間企業や団体に高齢者の介護を委託することは現在の法律では認められていません。高齢者用の建物とか、建物の管理、施設内で使う備品の調達あるいは食事の手配は民間事業に入札させることもあります。人の介護については行政の責務になっています。高齢者サービスを行政が行うことによって、高齢者相手の商売をしようという人達や企業を排除しているのです。高齢者を相手の商売はしないという考えがデンマーク社会に浸透しているためか、裕福な高齢者向け住宅建設とか介護施設の建設がデンマークに見られないのは高齢者同士の格差を出さないようにしているためだと思います。デンマークには高齢者に少しでも豊かな生活をさせたいと思っている人達が多数いるためか、「高齢者委員会」という組織があります。

⑩ 高齢者を支援する「高齢者委員会」

デンマークにはライオンズクラブなどを含め高齢者を支援する団体がたくさんあります。その中で一番大きいのはデンマーク語ではエルダーサーエン (Eldre sagen、英訳: Matter for Senior Citizens) で日本語に意訳すると「高齢者委員会」という名称の組織があります。この団体は1986年10月14日、EGV基金を基に高齢者の生活全般の改善を目的とし設立しました。現在の会員数は約53万人、全国に220ヶ所の支部を持ち、世界ではAARP(注)グローバルネットワークに登録しアメリカの会員数約3900万人に次ぐ会員数を登録していると云われています。「高齢者委員会」を支援するボランティアメンバーは約1万人で、ボランティアメンバーの役割は高齢者への社会的、人道的支援で例えば高齢者の訪問(散歩や話相手)、必要な時の電話相手、PCサポート、食事の相手、起し役その他年間5万件に上る各種行事の企画支援となっていますが全て無料で奉仕しています。例えば、その中で高齢者への具体的支援としては：(注) AARP: American Association of Retired Personsの略称。

- 1) 社会的・法的アドバイスとして、住宅手当問題、納税問題、年金問題、遺産と遺言問題、リハビリや介護問題など高齢者が抱える各種問題に対し法律面での解釈や利用の可否に関する電話による無料アドバイスのサービスを行っています。例えば、住宅手当が貰えるかどうかなどの質問に答えてくれるのです。
- 2) PCサポートにおいては、インターネットやメールの使い方などコンピュータの使い方に関する研修を企画するほか、各種トラブルへの対策として「ホットライン」の開設をし全て無料で対応しています。
- 3) 各種割引料金への指導では、メガネ代、旅行や文化施設利用の割引料金へのアドバイスですが、このアドバイスも無料でサービスが受けられます。
- 4) インターネットでの各種行事への案内では、例えば、映画館の高齢者用サービス料金案内(コーヒー付きで映画鑑賞60クローネなど)、ボーリングへの案内、全国ブリッジ大会への案内、全国ペタンキューナメントのお知らせ、その他旅行案内、各種研修案内、日曜日カフェなどへの案内を無料サービス。などがあります。(注) AARP: American Association of Retired Personsの略称

全国にインターネット回線が普及しているデンマークでは「高齢者委員会」はインターネットの使い方を高齢者に教え、トラブルへの対応をし、少ないお金で各種の行事に参加できることを紹介したり支援しているのです。

⑪ 余暇を楽しむ高齢者

私の知人に70歳中頃の夫婦がいます。年金所得者になるまで農場経営をしていました、その農場を売却し田舎町の住宅地3500m²を買い、そこに約200m²の家を建て、夫婦だけで住んでいま

す。この夫婦はいろいろな行事な集まりことで出かけているため、殆ど家に居ません。そんなことで訪ねる時は電話をし在宅と都合が聞いたうえで訪ねることにしています。デンマークの高齢者の人達は何故家を空けるか、その理由の多くは、親族や友人・知人との集まりに出歩くためです。この中には、知人や友人の誕生日会、銅婚式、銀婚式、金婚式に参加し、知人・友人家族の子供達の結婚式への参加などがあります。また、週に4時間ほど、赤の十字架と呼ばれ慈善事業団体が運営するリサイクルショップのレジ係や販売品目の整理・整頓など無奉仕で勤めるなどしているためである。私の知り合いの人達は、年齢関係なく、誕生日会は必ずします。私も子どもが3人、婿が3人それに孫が5人いますが、誕生日には必ず、物かお金をあげて祝うことにしています。そんなことで、私の日記帳を兼ねたカレンダーには、それぞれの誕生日と年齢を書き、忘れてないようにしています。

隣の78歳のおばあちゃんは月曜日は温水プールで水泳、水曜日はペタンキューゲーム（高齢者のトーナメント競技選手）、冬場は屋内での体操、カードでのゲーム遊び他、女性同士の食事会など、そのほか、3人の息子さんと息子さんの嫁さんの誕生日会、孫さんの誕生日会などで忙しくしています。夏場は花壇の手入れが彼女の趣味で、天気が良くても悪くても、家の居るときは庭の手入れに忙しくしています。何れにせよ、私が知っている高齢者の生活を見ていると、健康である人も病気や障害になった人も、生活するお金を心配せず暮らしています。

⑱ 葬儀費

デンマークの葬儀について簡単に触れます。デンマークの葬儀は通常教会で行います。デンマークは憲法の第4条で「国教はルーテル教会」だと規定し、全国約2400ヶ所にある教会を維持するために、教会税を採っています。そんなことで、教会は国家の運営であるため、牧師は公務員です。そういうことから、教会での葬儀料は無料となっています。教会で葬儀式が終了すると、隣接する墓地に土葬します。都市部においては、火葬する場合もあるようですが、地方の葬儀は殆ど棺をそのまま土に埋葬します。葬儀に参列した人達には、遺族の方によってコーヒーや紅茶などで済ませる場合もあるし、軽食が出る場合もあります。日本の葬儀式のような大きな食事が出ることはありません。葬儀費に対し国から棺代に値するお金として約8,000クローネ（約16万円）が支給されると言われています。なお、デンマークの葬儀代は墓場の借料、墓石の購入代など含め葬儀にかかる費用は3万クローネから5万クローネ（60万円～百万円）と云われています。

⑲ 国家予算の約40パーセントが社会福祉予算

デンマークの2011年における中央政府予算案によりますと、歳出総額6855億クローネ（約13.7兆円）の内失業手当、後期給与、就学支援金そして国民年金など移転所得として充てられる予算額は2677億クローネ（約8.0兆円）で国家予算の約39%が福祉予算ということです。そして高等学校や大学の運営管理、国防費、警察や公務員の給与として充てられる予算額は国家予算歳出総額の約18%に当たる1237億クローネ（約2.5兆円）、国から地方行政（注）に充てられる地方交付金額は国家予算の約28%に当たる1950億クローネ（約3.9兆円）になっています。そして公共投資と呼ばれる予算額は114億クローネ（約2300億円）で予算総額の約1.7%となっています。こういうことで、デンマークの政府予算額の歳出の殆どは議会で決定された（法的に決められ）お金であるため、政治家が独自で使える（配分できる）予算はごく僅かであるということです。

（注）：育児支援や小中学校など義務教育機関の運営管理、病院の運営管理は地方行政の業務でそれに掛かる費用の国家負担分。

（以下、21ページ 第二章に続く）